

議 事 日 程 (第2号)

令和3年9月10日(金曜日)午前9時30分 開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
日程第2 認定第1号 令和2年度東白川村一般会計歳入歳出決算認定について
日程第3 認定第2号 令和2年度東白川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
日程第4 認定第3号 令和2年度東白川村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
日程第5 認定第4号 令和2年度東白川村簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について
日程第6 認定第5号 令和2年度東白川村下水道特別会計歳入歳出決算認定について
日程第7 認定第6号 令和2年度東白川村国保診療所特別会計歳入歳出決算認定について
日程第8 認定第7号 令和2年度東白川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
日程第9 閉会中における議会運営委員会の継続調査について

出席議員(7名)

1番	安江真治	2番	安保泰男
3番	安江健二	4番	今井美和
5番	今井美道	6番	桂川一喜
7番	樋口春市		

欠席議員(なし)

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職・氏名

村長	今井俊郎	副村長	桂川憲生
教育長	神戸誠	総務課長	今井明德
村民課長	安江修治	地域振興課長	村雲修
産業振興課長	伊藤秀人	建設環境課長	安江透雄
教育課長	有田尚樹	会計管理者	今井英樹
国保診療所 事務長	安江輝彦	保健福祉課長兼 診療所事務局長	河田孝
監査委員	安江弘企		

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局 書記	居石浩之
-------------	------

◎開議の宣告

○議長（樋口春市君）

本日の出席議員は7名です。定足数に達していますので、これから本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付申し上げたとおりです。

◎会議録署名議員の指名について

○議長（樋口春市君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第113条の規定によって、5番 今井美道君、6番 桂川一喜君を指名します。

◎認定第1号から認定第7号までについて（質疑・討論・採決）

○議長（樋口春市君）

日程第2、認定第1号 令和2年度東白川村一般会計歳入歳出決算認定についてから、日程第8、認定第7号 令和2年度東白川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてまでの7件を決算認定関連として一括して議題とします。

ここで暫時休憩とします。休憩中に全員協議会を開催し、決算の質疑を行っていただきます。

午前9時35分 休憩

午前10時54分 再開

○議長（樋口春市君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

これから、上程中の認定第1号から認定第7号までの7件について、質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

6番 桂川一喜君。

○6番（桂川一喜君）

今回、全協質疑の中で公債費比率の問題等が上がっておりまして、当然、村長の答弁の中で、必要なものはやると。ただ、今までそれを使いながら、やっぱり借金とはいえども、おかげで光ファイバーも整備でき、それから病院等医療機関も整備できて、借金とはいえ必要な場合はやっぱり借金はするんだというおっしゃられた言葉に、以前、一般質問の中でやらせてもらいました過疎債というものがそもそもどういうものかという話をさせていただいたんですけど、財源が十分確保できる都市部はそのまま必要なものに投資していける、でも、郡部におきましては、まずお金を準備しようと思っても、そもそも人口が少ない、それから産業が少ない、郡部というのはやっぱり最初の

軍資金ができない、だけど住民のためには必要だから、先行投資的な必要なときに過疎のところには特別な計らいで借金をさせてあげるといのが過疎債になっているといのが国のページの中にも書いてありまして、以前にもそのことについての質問を村長に投げかけたことがありますけど、ちょうど今回の一般質問で来期も頑張られるとおっしゃられた村長に、あえてちょっとこの決算議会の質疑を通じてお聞きしたいんですが、取りあえず2期の間にはやっておかなきゃいけないことをまずやられたとは思いますが、今後、借金をしなくていける、返すだけなのか、それともまだやっぱり村のためにはこれが必要なんだと、まだこれをやっておかないと心残りがあるから、これについては今後また借金をしてでもやる可能性があるかもしれんみたいな、まだこの村に何かしらの足りないものがあると今何か考えておられるかを、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（樋口春市君）

村長 今井俊郎君。

○村長（今井俊郎君）

私自身が表明したことによって選挙運動にならんように話をせにやいかん身分になったんで気をつけて発言をしたいなあというふうに思うんですけど、確かに光ファイバーだとか、課題であった診療所とはなのき会館、まあこういうのは起債を活用しながらできたというふうには考えておりますが、日進月歩でそれぞれの設備もすぐ古くなっていく、CATVの機械もそういうふうになっていきます。それから、今まで使ってきた水道設備、これも昨今CATV等で御存じだと思いますが、至るところで本管がいわゆる中にある石に当たって裂けて水が漏れておると。このところに来てもう3か所分ぐらい出ている。これをこれから、電装系のやつが終わった後に計画的に古い管から当然ながら更新をしていかないかん、こういうこともございます。

それから、先ほど議論になった空き家の問題、あるいは遊休農地、不耕作地、こういったところ、これが村民の皆様方が快適に暮らすために非常に不都合であると。こういうことがこれからどんどん増えてくると思うんですけど、今何とか我慢できているんだけど、危険であるとか、それから不衛生であるとか、まあ見た目というのでも確かに美しい村というのを標榜しておる以上は非常に問題であるなというところがあります。ただ、こういった課題も、先ほど総務課長等々が答弁したとおり、国の制度を使いながらとなると、なかなか遅々として進まないところがあります。しかし、村独自のいろんなアイデアを出しながらスピード感を持って対処していくべきところは対処していかないかんかなあというふうなことも常に思っております。

医療や福祉が、議員がいつもおっしゃるとおり、東白川で暮らす人がよそに負けたくないという、むしろここへ帰ってきたいというような村というのは、言葉で言うと簡単なんですけど、なかなか簡単には実現できない、これは先ほど全協質疑であった文化の面でもそうですし、生活そのもののことでもそうですし、米作りのことについても先ほど議論があったと。これは、まだまだやるべきことは山ほどあります。そういう意味で幾つかの事例を申し上げましたんですけど、今取りかかっています公共施設の適正化、例えば小・中学校をこのままずっと維持していくのかという問題、あるいは今使っていない旧診療所病棟、ここをどうするかとか、それから地域にある集会所であま

り使われなくなって老朽化している施設をどうするのか。こういったことも当然課題があって、今調査をやったり、アンケート調査をやったりしておるわけなので、まだまだやるべきところはいっぱいあります。

こういったことを処理していくのにも、上手な起債を活用しながらやっていく必要は当然あります。何せ自己財源比率27%ぐらいの村でございますので、こういった中で、先ほど質問があった実質公債費比率も高止まり、あるいはちょっと上へ行くんですけれども、ここは、仕事がやりづらくなる18%を超すときがあるかもしれませんけど、そこは県とのパイプをしっかりとつなぎながら、やるべきことはしっかりやっていきたいと、このように考えながら毎日の業務をやっていると、これからもやっていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（樋口春市君）

6番 桂川一喜君。

○6番（桂川一喜君）

今おっしゃった答弁というのは本当に大事で、これはちょっと議会の統一見解ではないのであれですけど、僕も議員になった当時は村の借金があるのが気になって、それから貯金もあると、何でやねんって。というのは、貯金があるんだったら返してしまえばいいって思っておったんですが、実は残念ながらそれは勉強不足で、やっぱり国が過疎債みたいなもの、要は国が過疎地域に対して補助金は渡せないけれど、取りあえず借金はしていいよと、ただ、借金はするというものの、返すのは大変だろうから、そこは返す段階においても一度猶予をしてくれると、こういう仕組みがあるということを議会を通じて知ることができ、ただ、どうしても村民から見ると借金というのは必ず悪だというイメージがあった中で、国との間に取り交わされる借金につきましては、借金という名前の一種の補助金だということも勉強させていただきました。

ただ、無制限に借金を増やすということは幾ら何でもやめてくれというのが、こういう公債費比率を見守っていく過程であろうかと思っておりますので、先ほど村長がおっしゃったように、やっぱり住民のためにしっかりなるものである、村民のためになるものである、それから国の施策にのっとっているものは、実は借金じゃない方法で国から予算を引っ張ってくるという可能性があろうものも多かろうかと思っておりますので、今後とも村民のために十分利益、村民の利益を最優先にした状態における借金ですとか村の財政の圧迫については、実はもっともっと今まで以上に十分村民に宣伝して理解を得ていくという作業も必要だと思っております。それは僕が常々言っているように、まだまだ住民に対する説明というのが十分足りていない可能性があるもので、そのところを選挙運動になっちゃいかんと村長はおっしゃいましたけれども、実は期が変わるときというのが逆にそれを説明するいい機会にもなるかと思っておりますので、村長の政治家としての活動を通じながらでも結構ですので、住民に理解をしていただく努力をしていただきますと、議会のほうのこういう認定していく過程も、僕らの労力も減ろうかと思っておりますので、ぜひともお願いしたいと思っております。それについての見解だけ、少しいただければと思います。

○議長（樋口春市君）

村長 今井俊郎君。

○村長（今井俊郎君）

情報公開というか、定例会でも条例の改正があったこともあるわけなんですけど、情報の質というのをどう考えるかとよく議論される場所なんで、こちらは発信したつもりでも受け取り方が分かっていなかったらその情報の価値は持たないので、いつも言う、情報は伝わってからこそ情報ということを経験にもいつも口を酸っぱくして言っております。

今回の決算議会でお認めいただけたならば、その内容について、広報では特集を組みますし、例年のことなんですけど、私も1日の村長室からその内容をしっかりお伝えしていく、こういった活動はしっかりやっていますし、また、年末、もう既に10月には各団体の要望の日程等も決めて準備にかかっていますが、地域の皆さん方の話合いというのはしっかりとやっていかないと、いわゆる理解度が不足するとイレギュラーが出てくるということもあるので、丁寧な説明と、しかし説明をしても全員が分かったという話というのはなかなかないのは皆さんもよく経験されることだと思いますけど、本当に公共の福祉に資するのかという、それももちろん当てて、これはいいことだから多少の我慢とか反対とか、強いることがあってもやるべきところはやっていくという信念でもって進めないと、これは進まないところもあるわけなんで、そういう思いでこれからも仕事に当たっていきたいと思います。情報公開については、しっかりとやっていくべきだという考えは一緒でございますので、これからも努めてまいります。

○議長（樋口春市君）

6番、よろしいですか。

○6番（桂川一喜君）

はい。

○議長（樋口春市君）

ほかに質疑はありませんか。

ありませんか。

[挙手する者なし]

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許可します。

[挙手する者なし]

次に、原案に賛成者の発言を許可します。

[挙手する者あり]

3番 安江健二君。

○3番（安江健二君）

すみません、マスクを外してやらさせていただきます。

令和2年度一般会計並びに特別会計6会計決算認定に当たり、賛成の立場から意見を申し上げます。

令和2年は飛騨地域の山間部を中心に豪雨による大きな被害が発生をしました。7月7日から8日にかけての雨が最も激しく、県内20市町村に土砂災害警報が出ました。下呂市小坂町内の国道41号の崩落により、1日当たり7,600台の車が通過する大動脈が不通となりました。白川町河岐では、飛騨川と白川の合流箇所でバックウォーターが発生をしました。東白川村でも、時間最大雨量40ミリを超える大雨により、村内94か所で小規模ではありますが災害が発生をいたしました。

幸い、村民の皆様の御尽力により大被害には至りませんでした。今後はこれらの教訓を基にハザードマップを使いこなして、地域の危険箇所を知るとともに、一人一人がタイムライン（防災行動計画）をつくって逃げ遅れゼロを実現しなければなりません。

一方、国内では新型コロナウイルスが猛威を振るい、3月31日時点で47万5,809人が感染、岐阜県では4,840人の方が感染をされています。現在に至っては、変異株（デルタ株）に置き換わり、第5波の到来となる、さらなる脅威となっています。国・県の方針に従い、村ではワクチン接種も順調に進み、村民の接種率も約90%と県下でもトップクラスとなっています。このような事態の中で、国から新型コロナウイルス感染対応地方創生交付金1億6,941万2,000円の交付金を受けて、感染症対策事業、避難所の装備の充実、飲食店や白川茶販売の支援、建築事業への支援、消費の喚起など多くの事業を実施していただきました。数十年来では例のない、見えない驚異に対する予防策は誠に難しいものであります。しかし、現時点では感染者も少なく、油断は大敵ですが、一応の効果は出ているものと思われま。

東白川村の財政健全化判断基準となる実質公債費比率は13.2%でありました。昨年比1.2%悪化しておりますが、これは元利償還金の額が増加したことが要因と思われま。

一方、村民が負担すべき費用のうち年度内に納められなかった額は一般会計特別会計合わせて1,212万7,000円あります。昨年と比較すると108万4,000円減少しており、徴収に努力をされていることを評価いたします。

以下、所管課別では、保健福祉課では、村民が共に支え合いながら、誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らせるやさしさのある村づくりを目指し、社会福祉事業として、高齢者・障害者に対する各種支援、せせらぎ荘など福祉施設の修繕を行い、保健衛生事業として各種検診、予防接種を引き続き行っていただきました。

地域おこし協力隊では、継続して村の各種事業に関わっていただける隊員の募集と育成を実施し、退任後もこの村の地域で定住できる体制を構築して進めてまいりました。

みのりの郷では、持続可能な農業につながる活動として、元隊員の2人と現役の隊員が成果を上げてみえます。

国保診療所では、新しくなった診療所で初めて1年間を通して診察を行いました。外来患者も増え、今後も村民の皆さんが安心して通院していただき、地域のよりどころとなるような施設を目指

して、職員一丸となって頑張ってみえます。

全部の課が紹介できず残念ですが、新型コロナウイルス感染の終息がまだ見えない現在、村で開催される各種のイベントが中止となっています。4,000人が集まったつちのこフェスタ、夏祭り、秋フェスタ、歌舞伎公演、東京・名古屋・岐阜と3拠点がある村人会との大切な交流会などなどです。2年間開催を見送ったことで皆様方の心がイベントから離れることがないように、新たな対策をもって臨まなければならないと思います。

限られた予算の中、コロナ禍の逆境の中で効率的な執行運営をされましたことに対しましては、村長をはじめ、職員の皆様方の努力を尊重しつつ、いまだ出口の見えないこのときをしっかりと乗り切れる施策をお願いしつつ、令和2年度の決算認定の賛成討論とさせていただきます。

○議長（樋口春市君）

ほかに討論はありませんか。

[挙手する者なし]

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから認定第1号 令和2年度東白川村一般会計歳入歳出決算認定についてから、認定第7号 令和2年度東白川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてまでの7件を一括して採決します。

この表決は、起立によって行います。

お諮りします。認定第1号 令和2年度東白川村一般会計歳入歳出決算認定についてから認定第7号 令和2年度東白川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてまでの7件は、原案のとおり認定することに賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

全員起立です。したがって、認定第1号 令和2年度東白川村一般会計歳入歳出決算認定についてから認定第7号 令和2年度東白川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてまでの7件は、原案のとおり認定されました。

◎閉会中における議会運営委員会の継続調査について

○議長（樋口春市君）

日程第9、閉会中における議会運営委員会の継続調査についてを議題とします。

本件について、趣旨説明を求めます。

議会運営委員長 桂川一喜君。

○議会運営委員長（桂川一喜君）

令和3年9月10日。

閉会中の継続調査の申出。

本委員会は、所管事務のうち次の事件について、閉会中の継続調査を要するものと決定したので、

東白川村議会会議規則第75条の規定により申し出ます。

1つ、会期及び会期延長の取扱いについて。2つ、会期中における会議日程について。3つ、議事日程について。4つ、一般質問の取扱いについて。5つ、議長の諮問事項に関する調査について。6つ、その他議会運営上必要と認められる事項。

東白川村議会議長 樋口春市様。議会運営委員会委員長 桂川一喜。

よろしく申し上げます。

○議長（樋口春市君）

お諮りします。委員長の申出の事項については、閉会中における継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、申出の事項については閉会中における継続調査とすることに決定しました。

字句及び数字等の整理についてお諮りします。本定例会における議決事項について、字句、数字その他の整理を要するものについては、その整理を議長に委任されたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、字句、数字その他の整理は議長に委任することに決定しました。

◎閉会の宣告

○議長（樋口春市君）

本定例会の会議に付された事件は全て終了しました。会議規則第7条の規定によって、本日で閉会したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。したがって、本定例会は本日で閉会することに決定しました。

これで本日の会議を閉じます。

令和3年第3回東白川村議会定例会を閉会します。

午前11時18分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員